

学校教育目標	○豊かな人間関係を重視し、地域社会や広い世界とかかわり、互いに成長していこうとする姿勢を大切にします。(公)(開)
	○自分の良さや可能性を伸ばし、自分自身をしっかりと見つめることを大切にします。(徳)
	○自ら課題を見つけ、解決し、明るく元気で充実した生活を送ることを大切にします。(知)(体)

学校概要	創立 78 周年	学校長 山崎 悦宏	副校長 田中 芳明	2 学期制	一般学級: 10	個別支援学級: 4
	児童生徒数:	386 人	主な関係校: 中村小学校・石川小学校・山元小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	平楽中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p><自分づくりに関する力> 小・中9カ年で4つの資質・能力「自己有用感・学ぶ意欲・コミュニケーション能力・規範意識」の定着を図ります。</p>	<p>平楽中学校 中村小学校 石川小学校 山元小学校</p>	<p>地域・社会と共に生きる子どもを育てます 「人とのつながりから自己有用感を高める」</p> <p>・小中の担当教諭による行事やカリキュラムの調整及び情報交換の実施 ・小中交流会、授業見学・研究討議の実施(市学状のデータ活用) ・児童生徒交流日での情報交換や部活動見学の実施 ・近隣の期間や地域の行事への積極的な参加 ・「子どもの声を取り入れた」活動の充実</p>

中期取組目標	<p>学校経営のスローガンを「学び・豊かに・健やかに」&「平楽魂＝やるときはやる」とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係をすべての基盤とし、学ぶ意欲を持たせ授業にしっかり取り組む姿勢を育てます。 ・生きる喜びや命の尊さを認識し、全校をあげて「いじめや暴力をしない、許さない学校づくり」を目指します。 ・知徳体のバランスの良い生徒を、そして地域や社会を担う地域人・社会人・国際人を育成します。 ・人権尊重の精神を基盤とする教育を推進すること、生徒の人権感覚の育成には、すべての教育活動の中で、生徒自らが人権感覚を学びとっていく環境が必要と考え、自他の違いを認め、尊重する意識、多様性に対する肯定的態度を育成します。
---------------	---

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①教職員は授業研究や研修を通して、わかりやすい授業づくりに努め工夫する。各種調査の結果から生徒の課題を把握して、効果的な指導方法の確立を図る。 ②家庭学習の定着にむけて保護者の協力を得ながら取り組み、生徒一人ひとりのキャリア形成を育む。
担当	学習指導部	
徳	豊かな心	①特別な授業道徳の時間だけでなく、行事や特別授業、また日常の学校生活の中で互いを認め合い、支え合える集団を形成する。 ②外国に繋がる生徒や家庭が多く在籍する環境の中で、多様な文化や考え方を理解し共生できる人権意識を高める。 ③国際理解、多文化共生の学びの場を多く設定し、日常の生活の中に自然と道徳・人権意識を高める環境をつくる。
担当	人権・道徳担当	
体	健やかな体	①授業及び部活動を通じ、身体を動かす楽しさを知り、健康保持増進の知識や予測困難な時代を生きるためのスキルなどを身につけさせるとともに体力の向上を図る。 ②安全管理と事故防止について全職員に研修を実施し未然防止の観点から危機管理能力の向上に努め、徹底を図る。 ③食育を推進する中で、自己や他者の健康を考え実践をできる能力を身に付けさせる。
担当	保健指導部・保体科	
公開	地域学校協働活動 地域連携	①学校だより、ホームページの充実を図り、地域に情報を発信するとともに、教職員も生徒と一緒に地域行事へ参加・支援する体制「地域と歩む平楽中」を継続する。さらに学校運営協議会と連携して「社会に開かれた教育課程」を推進する。 ②各連携機関や、各町内会の行事に積極的に関わり、地域と共に子どもを育てる意識を大切にする。
担当	校長・生徒指導専任	
いじめへの対応		①教育相談やアンケートを複数回実施し、いじめの未然防止と根絶に向けて取り組み、委員会・指導部が中心となって早期発見・初期対応を迅速に行い、再発防止にも取り組む。 ②全職員が学校生活すべてにおいて、積極的に生徒へ関わり、信頼関係を構築し、誰一人取り残さない学校にする。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①各学年組織によるOJTや校務分掌による組織での経験を大切に、実践を通して経験を積むことのできる機会を増やす。 ②若手人材がミドルリーダーとしての経験を積むことで成果が得られる人材育成を行う。 ③働き方改革では、学校グループウェアを活用した会議の効率化、ペーパーレス化に取り組む。
担当	各部署の主任・部長	
教育課程 学習指導		①指導と評価の一体化に対する研修や研究討議を行い、より深い理解を目指す。定期テストの在り方や評価方法などの共通認識を深め、生徒や家庭への共有方法の検討を進める。 ②学校評価等で生徒、家庭、地域の声を取り入れつつ、柔軟な学校運営を行い、よりよい教育活動に繋げる。 ③学校行事の統括的な見直しに取り組む。
担当	教育課程委員会	
生徒指導		①職員全員で生徒の登下校時の挨拶運動、授業中と休み時間の見守り活動を毎日実施する。各行事や学校生活を通して生徒と共に成長していく教職員集団になるように努める。 ②生徒の健全育成のために、保護者や地域、警察や児童相談所、区役所等の関係機関と情報交換を行う。
担当	生徒指導部	
特別支援教育		①支援の必要な生徒の情報を共有し、個々に合った支援体制を形成し実践する。 ②保護者、SC、SSW、校内ハートフル支援員、各小学校や関係諸機関との連携を図り、情報を密に共有する。
担当	特別支援教育委員会	
ICT教育		①平楽中学校DXを見据えて、学校全体のデジタル化を推進する。 ②全職員が日常的にICTを活用し、生徒の使い方やリテラシーを適切に指導できることを目標として、GIGAスクール構想による各教科及び特活、学校行事でのICT活用を推進する。 ③デジタルシチズンシップ教育を推進し、自ら判断して行動することのできる生徒を育成する。
担当	情報ICT委員会	